

DSC111および DST111 路面センサ

VAISALA

Product Spotlight

安全性と効率性を向上する信頼できる路面状態と温度データ

最小限の設置工事やメンテナンスで、精度の良い路面凍結状態のデータを提供します。



主な特長

迅速で容易な設置

本センサは、幅広い設置高さで既存の構造物に取り付けることができます。交通の中断や穴開け、新規工事をほとんど必要としません。

柔軟性と統合の容易さ

センサを組み合わせると、道路の気象状況の全体像がわかります。また、ヴァイサラ道路気象ステーションなどの既存の気象システムと簡単に統合することもできます。

長い耐用年数を通しての信頼性

本センサは従来のセンサとは異なり、自動補正機能と回復性の高い設計により、低メンテナンスを実現しています。

ヴァイサラが選ばれる理由

ヴァイサラの気象・環境観測技術は、比類のない道路ネットワークの状況認識を実現し、季節を問わず道路を安全かつ効率的に保つことができます。

85年以上にわたるイノベーションに基づいている当社の計測機器と気象情報は、精度と信頼性の業界最高水準として知られています。私たちは、正確なデータと洞察が持続可能な道路管理と気候変動対策を推進するうえで、いかに大きな役割を果たすかを理解しています。当社の総合的なアプローチは、エンドツーエンドのシンプルさ、価値あるパートナーシップ、常に進化を続けるソリューションの包括的なポートフォリオを提供します。

道路交通のエキスパートとして知られる当社は、道路をこれまで以上に安全かつ効率的にするための新しい方法を探求し続けます。

世界中のさまざまな組織が、ヴァイサラの堅牢で耐久性の高い路面センサを採用しています。従来のような費用や複雑さがない簡単な設置で、DSC111およびDST111センサは正確なデータ、迅速な価値実現までの時間、意思決定の向上を提供します。

DSC111 路面センサは、実績のあるレーザー技術を使用して、水、氷、シャーベット、雪、霜を識別し、交通量が多い場合でも摩擦係数を計測します。DST111 路面温度センサは、昼夜を問わず赤外放射量を計測し、インテリジェンス信号処理を適用して卓越した精度を提供します。

これらの技術により、道路の封鎖や路面の溝切りなどの設置工事で作業従事者の安全を危険にさらす必要がありません。ポール、照明柱、高い構造物などに取り付けることができます。また、センサは個別でも使用できますが、ヴァイサラの気象ステーションを介してDST111とDSC111を他のセンサと組み合わせることで、最良のデータ結果が得られます。

用途

- 非接触式路面状態計測
- 道路整備の意思決定と優先順位付け
- 複数の基準ポイントからの長期的な道路評価/分析

埋め込み式センサと比較した優位性

- 用途が広く、容易な設置
- 路面凍結前の事前検知
- 読み取りやすい摩擦データ
- 早期舗装障害、オーバーレイ、除雪車、水たまりなどによる損傷なし
- レンズ汚れ表示を利用し最適化されたメンテナンス

より安全な道路のためのより良いメンテナンス

本センサにより、より効果的なメンテナンスを通じて安全性を高めるとい核となる任務を遂行できます。

コスト効率と価値実現までの時間

センサのシンプルさ、堅牢性、使いやすさは、特に予算の制約がある機関にとっては、センサが提供するデータを超えた付加価値をもたらします。

的確なデータに基づいた意思決定

卓越した稼働時間とデータの可用性を備えセンサは、あらゆる気象条件下における道路情報を24時間365日提供し、効率性と意思決定を向上します。

